

三谷小6年生の総合学習

堤防アートのテーマを考えて発表してくれました。「メヒカリの一生」や「弘法さんが歩く三谷の街並み」など、ユニークなアイデアがたくさんありました。



ワークショップ

蒲郡版の二十四節気七十二候を考えたり、堤防への絵の描き方を学んだりしました。



「450メートルの長さを活かすためのテーマがなかなか決まらなくて、メヒカリをいっぱい描いて『メヒカリロード』と名付けては？と迷走していた時期もありました。それはそれでおもしろかったんですけどね。」と、プロジェクトメンバーは笑って話します。

話し合いの末、「蒲暦（がまこよみ）——30年先も愛し続けたい蒲郡——」というテーマにすることになりました。「二十四節気七十二候」になぞらえて、30年後も愛したい、蒲郡ならではの風景を描くというものです。

「満場一致でこれだ!」となりました。これなら堤防を通して蒲郡のいろいろな魅力を伝えられると。」

このテーマに合わせて、幅5.9メートルを1区画として、72のデザインを募集し、壁画の両端はゲストアーティストに依頼することになりました。色は、全体で統一感を出すために6色に制限。背景はジャンボ壁画の波型を継承します。

